

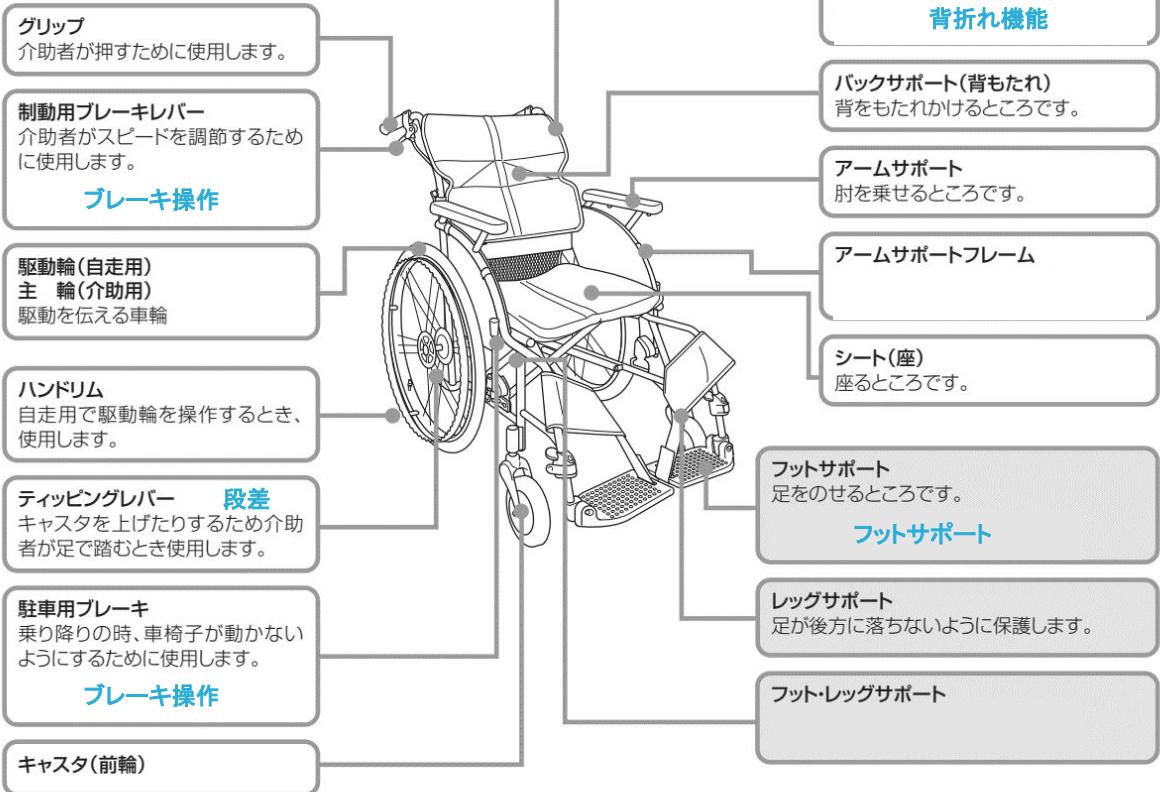
車いすをご使用いただく前にお読みください。

## ネクストコア 自走型

株式会社松永製作所  
NEXTCOREシリーズ取り扱い説明書引用

### 車いすの各名称

#### 自走用標準形・介助用標準形

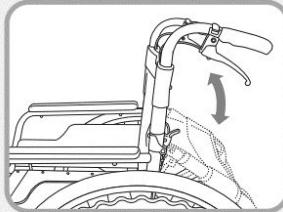


動画



# 機能説明

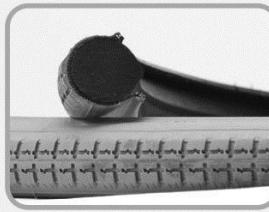
## 〈バックサポート〉



### 折りたたみ

背もたれパイプを折りたたみすることができます、自動車等への積み込みが容易に行えます。

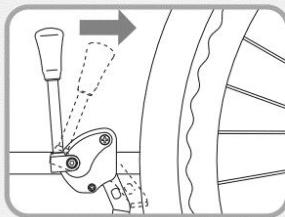
## 〈ハイブリッドタイヤ〉



- ・ノーパンクタイヤ
- ・空気圧調整不要

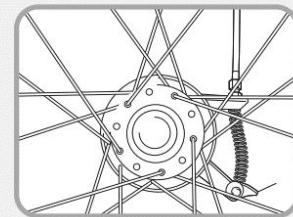
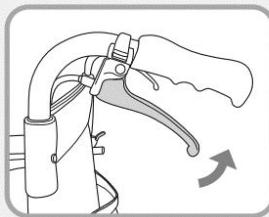
## 〈ブレーキ〉

### ミニタッカル



駐車用のブレーキです。乗り降りの際に車椅子が動かないようにするために使用します。

### 制動用ブレーキ(ドラム)



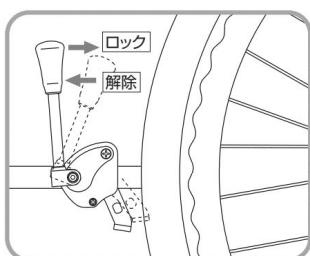
介助者のための制動用ブレーキです。走行中や坂道で速度を調整する際に使用します。

## ブレーキ操作

### ブレーキの使用方法

- ブレーキレバーを後方に引くとロックします。
- ロックした方向と反対に引くと解除します。

### 駐車用ブレーキ



### ブレーキ操作

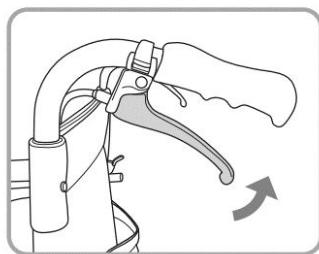


NG例) ブレーキレバーを引かないと危険です。

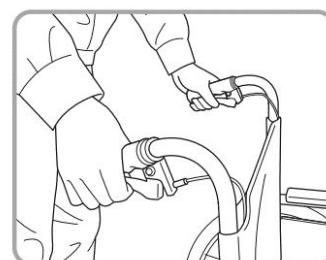
### 制動用ブレーキ

- レバーを握るとブレーキがかかります。
- レバーを離すと解除します。

介助者の方が走行中や下り坂での減速及び停止に、ご使用ください。

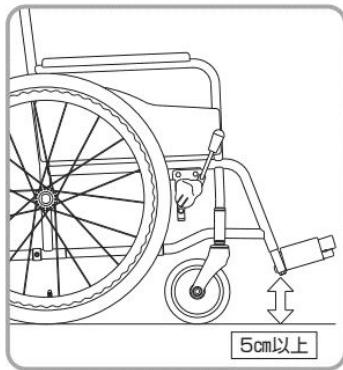


ゆっくり握ります



両側同時に握ります

# フットサポートの調整

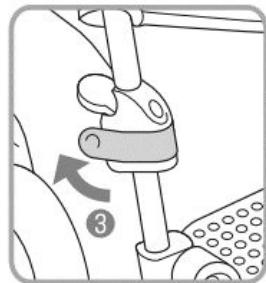
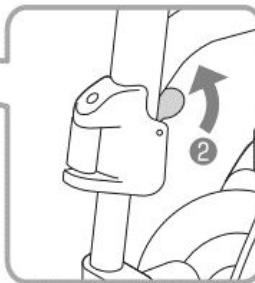
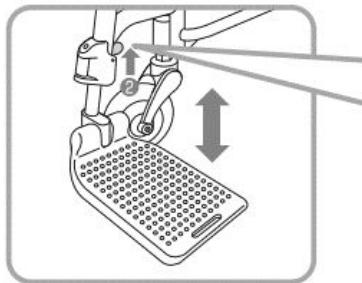
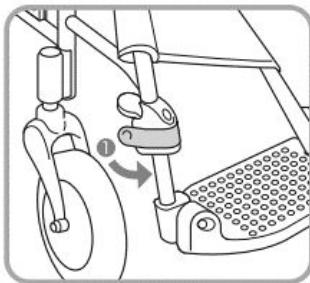


## 注意

- フットサポートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。  
(路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり急に車椅子が止まり、転倒事故の原因になります。)

## 〈高さ(長さ)の調整〉

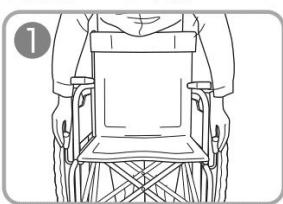
- ①回転レバーを回転させ、安全ロックを解除します。
- ②プッシュレバーを押しながら高さを上下に調節します。
- ③高さを調節し、プッシュレバーが戻っていることを確認して回転レバーを元の位置に戻してロックする。



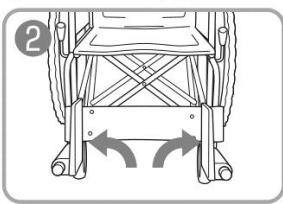
# 乗り降りの仕方

## 乗る時

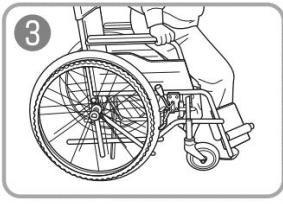
- ①駐車用ブレーキを両側ロックします。



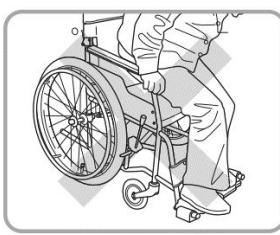
- ②フットサポートを両側上げます。



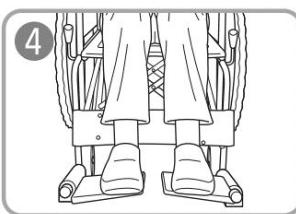
- ③両手で、アームサポートを持ちゆっくり座り込みます。



## 駐車用ブレーキ

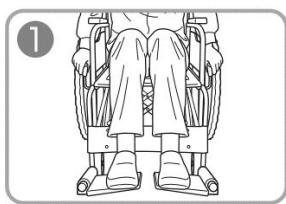


- ④フットサポートに足を乗せます。

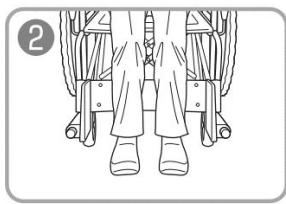


## 降りる時

- ①駐車用ブレーキを両側ロックします。



- ②フットサポートを上げ、足を下ろします。



- ③両手で、アームサポートを持ちゆっくり立ち上ります。



# 折り畳み

## 車椅子の折りたたみ方

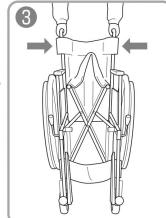
① フットサポートを矢印方向に回転させて上げる。



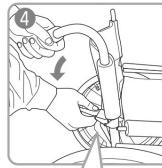
② シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。



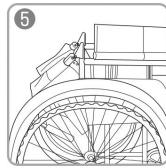
③ 左右のグリップを持ち内側にたたむ。



④ グリップを片手で持ち、レバーを後方に倒し、バックサポートを倒す。



⑤ バックサポートを両側後方に倒す。



指や手、荷物の  
はさみ込み要注意

## ブレーキ操作

フットサポートを上げてから  
降ります



NG例) 足を足台にのせたまま立ち上がると危険です。

ロックピンが  
はまるまで

# 坂・段差の介助方法

## 外出時の注意

介助者援助をお願いしてください。

坂道の登り下りでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただき行ってください。

登り坂



下り坂

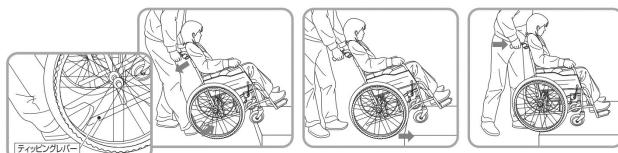


## 介助の仕方

次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者の方が付き添ってください。介助者が付き添っていない場合は周りの人に介助をお願いしてください。

- ・坂道
- ・踏切の横断
- ・側溝の格子蓋の横断
- ・悪路
- ・乗り物への乗車、下車
- ・段差乗りこえ
- ・傾斜している路面

介助者の方は、段差を乗りこえる場合は、ティッピングレバーを斜め前に踏みながらグリップを手前に引きキャスター(前輪)を上げ、前輪を段差に乗せてから、後輪を段差に当て、押しながら乗りこえてください。



ゆっくり足で押し、手は引きます

## 注意

- グリップのみで、キャスター(前輪)を上げないでください。  
(バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒して事故の原因となります。)

## 警告

- スピードをつけて、段差を乗りこえようとしてください。  
(使用者が車椅子から転落して、事故の原因となります。)



- バックサポートが折りたたみの場合は、使用者が車椅子に乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。  
(パイプが外れたりして、転倒・転落事故の原因となります。)

ロックピンがはまるまで

## 注意

- 坂道を下るとき介助者の方は、車椅子を後ろ向きでゆっくり後方を確認しながら走行してください。  
(前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり、前のめりとなり、転倒事故の原因となります。)



## 注意

- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。  
(バランスを崩し、前に転倒して事故の原因となります。)

介助者援助をお願いしてください。

